

スピードセンサ回路

回路解説

スピードセンサの信号をスライドドアクローザコンピュータが受信し、車速約 3 km/h 以上になるとパワースライドドアの作動を行わない。

配線図

05-897参照

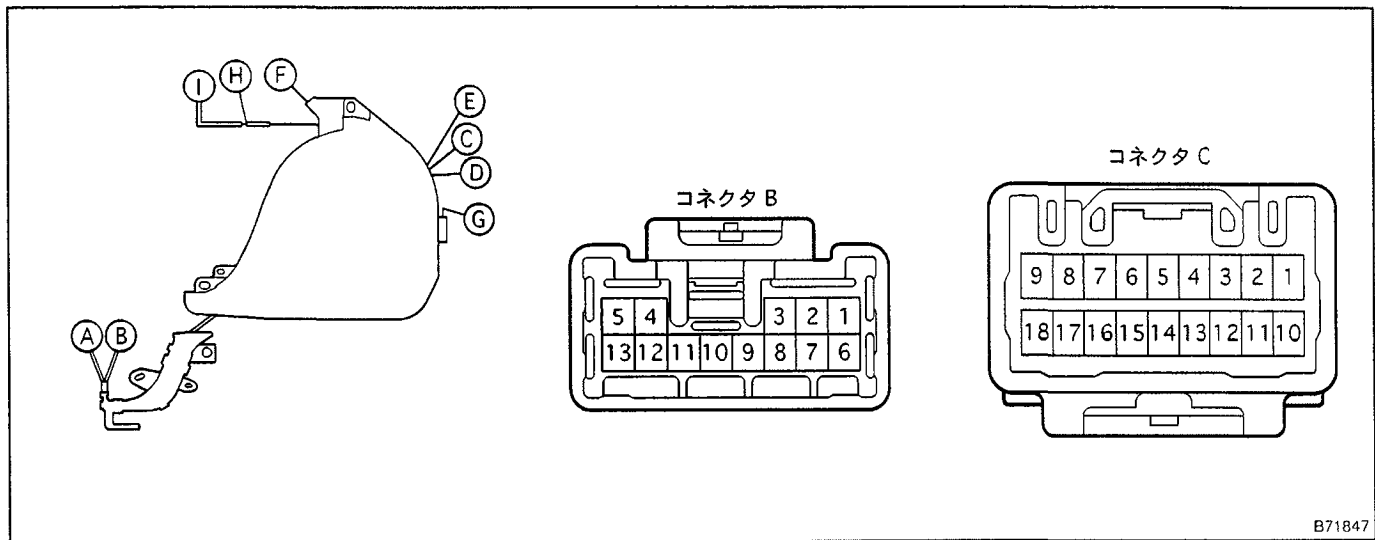
点検手順

1 リヤドア ワイヤ NO.2 単体点検

SST 09082-00030, 09083-00150

(a) 導通点検

(1) リヤドアワイヤ NO. 2 のコネクタ B および C を切り離す。



(2) SST (トヨタエレクトリカルテスター) を使用して、リヤドアワイヤ NO. 2 のコネクタ各端子間の導通を点検する。

基準：

端子番号	基準
B 2 ⇔ C 6	導通あり

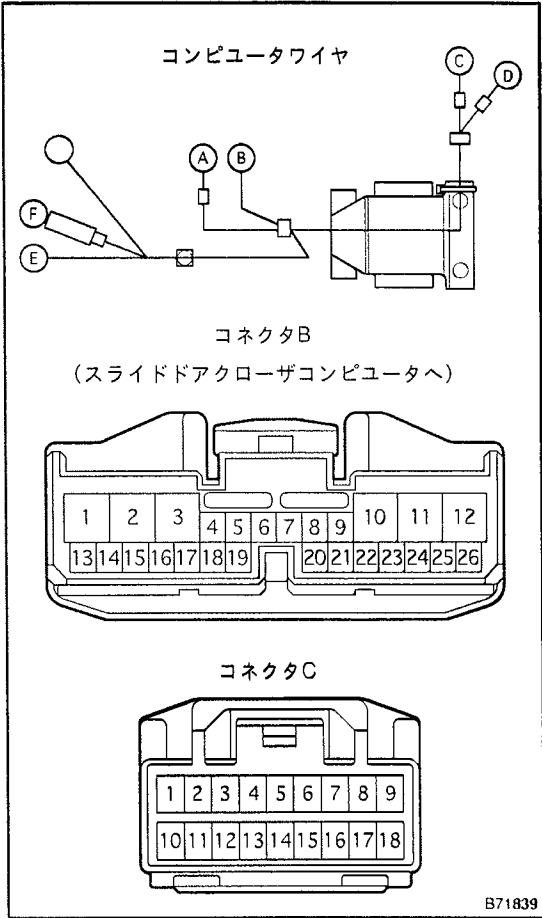
NG

リヤドア ワイヤ NO.2修理または交換

OK

2 コンピュータ ワイヤ単体点検

SST 09082-00030, 09083-00150



(a) 導通点検

- (1) スライドドアクローザコンピュータのコネクタBおよびコンピュータワイヤのコネクタCを切り離す。
- (2) SST (トヨタエレクトリカルテスター) を使用して、コンピュータワイヤ側コネクタ各端子間の導通を点検する。

基準：

端子番号	基準
B 26 (コンピュータ) ⇔ C 6	導通あり

NG コンピュータ ワイヤ修理または交換

OK

3 コンビネーションメータASSY点検 (要領は05-701参照)

- (a) スピードセンサ出力を点検する。

NG コンビネーションメータASSY交換

OK

スライドドア クローザ コンピュータ交換

スライドドアハーフオープンストップコントロール回路

回路解説

ドアコントロールスイッチASSY（メインSW）がONの時、スライドドアハーフオープンストップコントロールASSYによるスイッチ信号をスライドドアクローザコンピュータが受信し、スライドドアの開作動を途中で中止する。

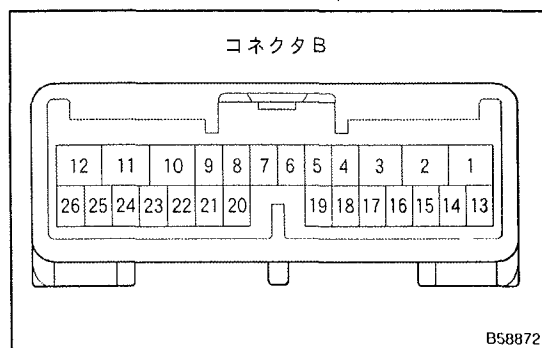
配線図

05-897参照

点検手順

1 スライドドア クローザ コンピュータ 点検

SST 09082-00030, 09083-00150



(a) 導通点検

- (1) スライドドアクローザコンピュータのコネクタBを切り離す。
- (2) SST（トヨタ電気リッドテスター）を使用して、スライドドアクローザコンピュータ車両側コネクタB 17端子⇔ボデーアース間の導通を点検する。

基準：

端子番号	測定条件 (メインSW ON状態)	基準
B 17⇔ボデーアース	フューエルリッド開時	導通なし
B 17⇔ボデーアース	フューエルリッド閉時	導通あり

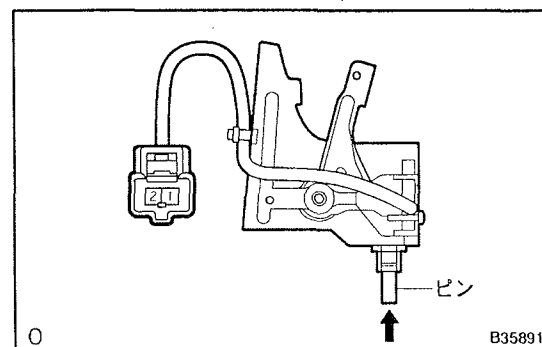
OK

スライドドア クローザ コンピュータ 交換

NG

2 スライドドア ハーフオープンストップコントロールASSY単体点検

SST 09082-00030, 09083-00150



(a) ドアコントロールスイッチ（フューエルリッド開検出スイッチ）導通点検

- (1) SST（トヨタ電気リッドテスター）を使用して、コネクタ端子間の導通を点検する。

基準：

端子番号	測定条件	基準
1⇔2	ピンを押し込まないとき	導通なし
1⇔2	ピンを押し込んだとき	導通あり

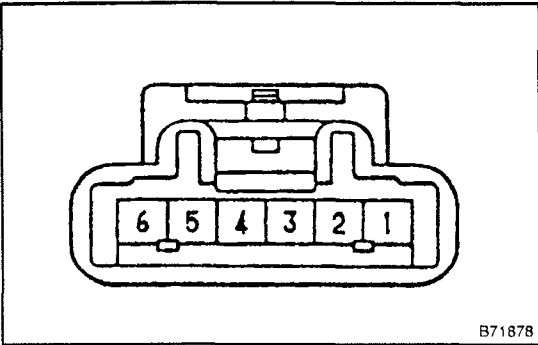
NG

スライドドアハーフオープンストップコントロールASSY交換

OK

3 ドアコントロールスイッチASSY単体点検（メインSW）

SST 09082-00030, 09083-00150



- (a) 導通点検
- (1) SST（トヨタエレクトリカルテスター）を使用して、コネクタ4端子⇔5端子間の導通を点検する。

基準：

端子番号	測定条件	基準
4 ⇔ 5	スイッチ未操作時 (OFF)	導通あり
4 ⇔ 5	スイッチを押したとき (ON)	導通なし

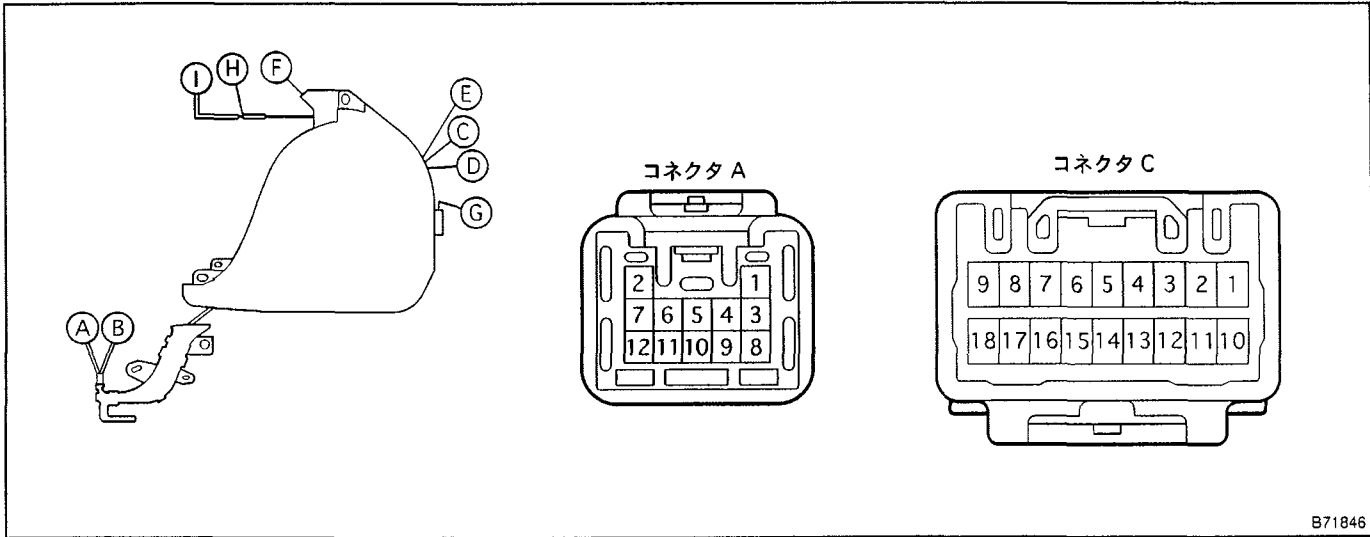
NG → ドアコントロールスイッチASSY交換

OK

4 リヤドアワイヤNO.2単体点検

SST 09082-00030, 09083-00150

- (a) 導通点検
- (1) リヤドアワイヤNO. 2のコネクタAおよびCを切り離す。



- (2) SST（トヨタエレクトリカルテスター）を使用して、リヤドアワイヤNO. 2のコネクタ各端子間の導通を点検する。

基準：

端子番号	基準
A 2 ⇔ C 2	導通あり

NG → リヤドアワイヤNO.2修理または交換

OK

5 コンピュータ ワイヤ単体点検

SST 09082-00030, 09083-00150

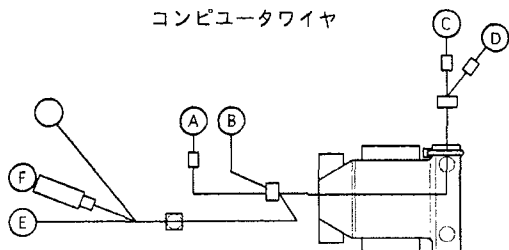
(a) 導通点検

- (1) スライドドアクローザコンピュータのコネクタBおよびコンピュータワイヤのコネクタCを切り離す。
- (2) SST (トヨタエレクトリカルテスター) を使用して、コンピュータワイヤ側コネクタ各端子間の導通を点検する。

基準:

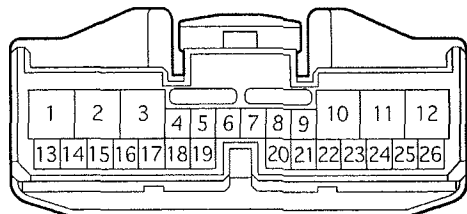
端子番号	基準
B17 (コンピュータ) ⇔ C 2	導通あり

コンピュータワイヤ

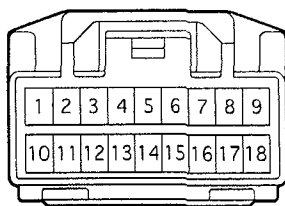


コネクタB

(スライドドアクローザコンピュータへ)



コネクタC



B71839

NG

コンピュータ ワイヤ修理または交換

OK

ワイヤハーネスまたはコネクタ修理または交換

リヤドアロックアクチュエータASSY LH (ポジションスイッチ) 回路

回路解説

リヤドアロックアクチュエータASSY LH (ポジションスイッチ) のスイッチ信号をスライドドアクローザコンピュータが受信し、パワースライドドアの作動を制限する。

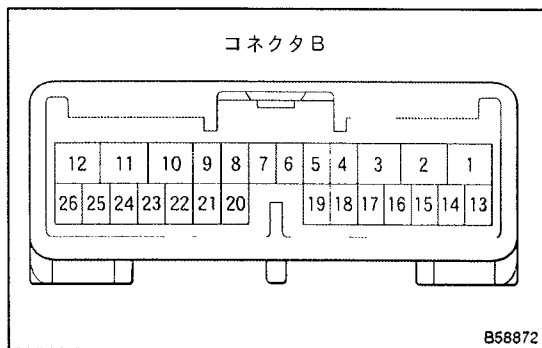
配線図

05-897参照

点検手順

1 スライドドアクローザコンピュータ点検

SST 09082-00030, 09083-00150



(a) 導通点検

- (1) スライドドアクローザコンピュータのコネクタBを切り離す。
- (2) SST (トヨタエレクトリカルテスター) を使用して、スライドドアクローザコンピュータ車両側コネクタB 2 2⇔ボデーアース間の導通を点検する。

基準:

端子番号	測定条件	基準
B 22⇔ボデーアース	リモートコントロールON (ポジションスイッチON)	導通あり
B 22⇔ボデーアース	リモートコントロールOFF (ポジションスイッチOFF)	導通なし

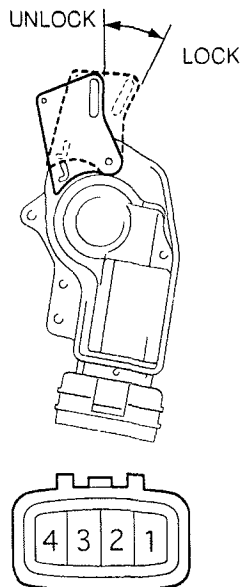
OK

スライドドアクローザコンピュータ交換

NG

2 リヤドア ロック アクチュエータASSY LH単体点検 (ポジションスイッチ)

SST 09082-00030, 09083-00150



B71881

(a) ドアロック作動点検およびポジションスイッチ導通点検

(1) ドアロック内のモータ端子間にバッテリー電圧を加えたときの
ドアロック作動およびポジションスイッチの導通を点検する。

基準：

接続	作動	基準 (ポジションスイッチ)
バッテリープラス⇔2端子 バッテリーマイナス⇔3端子	LOCK	1端子⇔4端子 導通なし
バッテリープラス⇔3端子 バッテリーマイナス⇔2端子	UNLOCK	1端子⇔4端子 導通あり

NG

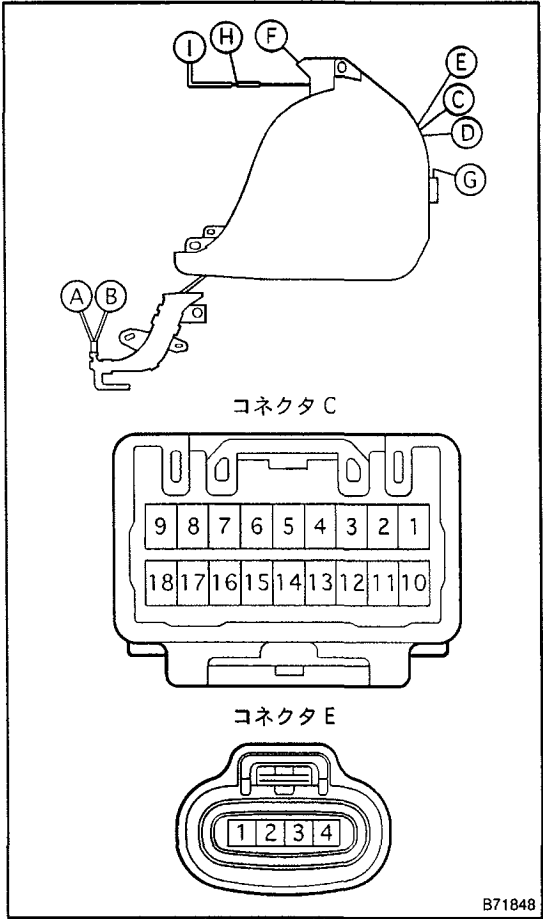
スライドドア ロック リモートコントロールASSY LH交換

OK

3

リヤドア ワイヤ NO.2単体点検

SST 09082-00030, 09083-00150



(a) 導通点検

- (1) リヤドアワイヤ NO. 2 のコネクタ C および E を切り離す。
- (2) SST (トヨタエレクトリカルテスター) を使用して、リヤドアワイヤ NO. 2 のコネクタ各端子間の導通を点検する。

基準：

端子番号	基準
C18⇔E 1	導通あり

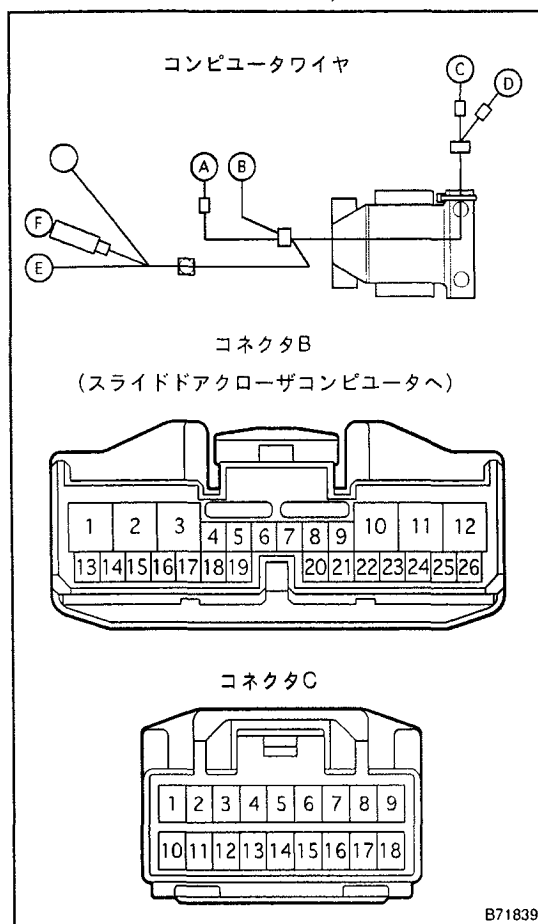
NG

リヤドア ワイヤ NO.2修理または交換

OK

4 コンピュータ ワイヤ単体点検

SST 09082-00030, 09083-00150



(a) 導通点検

- (1) スライドドアクローザコンピュータのコネクタBおよびコンピュータワイヤのコネクタCを切り離す。
- (2) SST (トヨタエレクトリカルテスター) を使用して、コンピュータワイヤ側コネクタ各端子間の導通を点検する。

基準:

端子番号	基準
B 22 (コンピュータ) ⇔ C 18	導通あり

NG

コンピュータ ワイヤ修理または交換

OK

ワイヤハーネスまたはコネクタ修理または交換

パワースライドドアセンサー（タッチセンサ）回路

回路解説

パワースライドドアセンサ（タッチセンサ）による挟み込み信号をスライドドアクローザコンピュータが受信し、パワースライドドアの閉作動を停止させる。

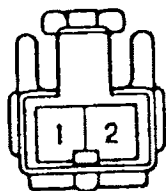
配線図

05-897参照

点検手順

1 パワースライドドアセンサー ASSY単体点検

SST 09082-00030, 09083-00150



B30880

(a) 抵抗点検

(1) SST（トヨタエレクトリカルテスター）を使用して、コネクタ1端子⇔2端子間の抵抗を点検する。

基準：約**1kΩ**

(2) SST（トヨタエレクトリカルテスター）を使用して、タッチセンサを押し潰したとき、コネクタ端子間の抵抗を点検する。

基準：約**100Ω**以下

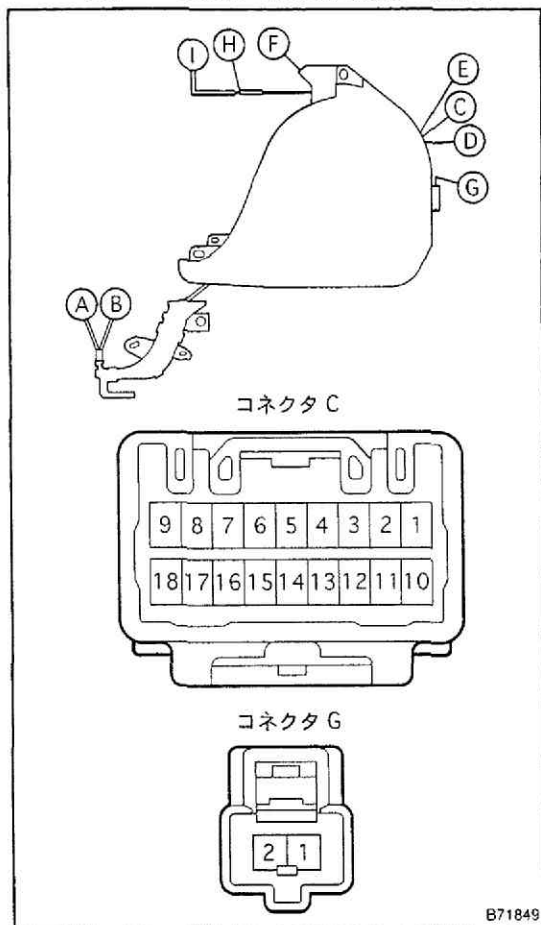
NG

パワースライドドアセンサー ASSY交換

OK

2 リヤドアワイヤ NO.2 単体点検

SST 09082-00030, 09083-00150



(a) 導通点検

- (1) リヤドアワイヤ NO. 2 のコネクタ C および G を切り離す。
- (2) SST (トヨタ電気カルテスター) を使用して、リヤドアワイヤ NO. 2 のコネクタ各端子間の導通を点検する。

基準：

端子番号	基準
C 17 ⇄ G 1	導通あり
C 15 ⇄ G 2	導通あり

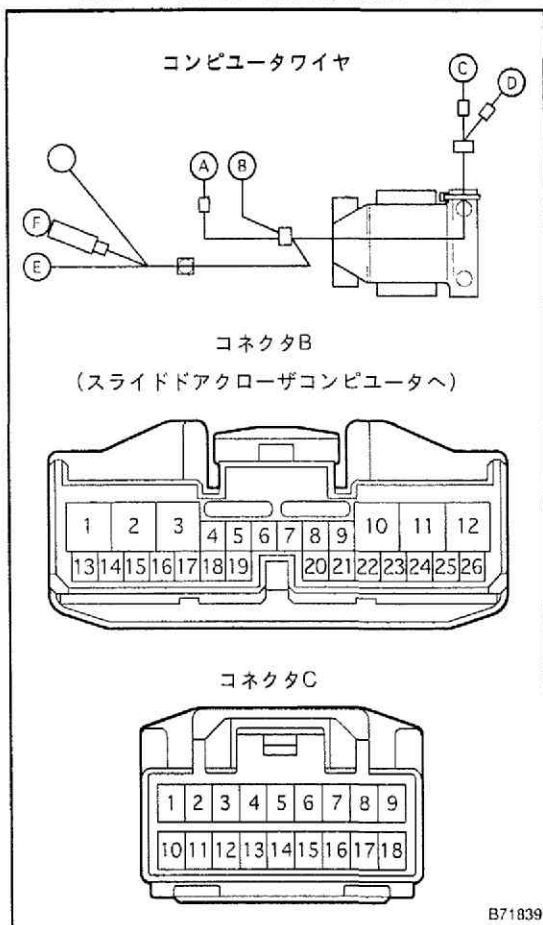
NG

リヤドアワイヤ NO.2 修理または交換

OK

3 コンピュータ ワイヤ単体点検

SST 09082-00030, 09083-00150



(a) 導通点検

- (1) スライドドアクローザコンピュータのコネクタBおよびコンピュータワイヤのコネクタCを切り離す。
- (2) SST (トヨタエレクトリカルテスター) を使用して、コンピュータワイヤ側コネクタ各端子間の導通を点検する。

基準:

端子番号 (コンピュータ⇔コネクタC)	基準
B 13⇔C 17	導通あり
B 14⇔C 15	導通あり

NG

コンピュータ ワイヤ修理または交換

OK

スライドドア クローザ コンピュータ交換

ブザー回路

回路解説

スライドドアクローザコンピュータが各作動時にブザーを吹鳴させる。

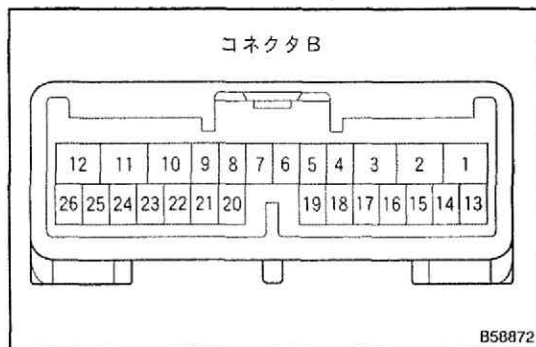
配線図

05-897参照

点検手順

1 スライドドアクローザコンピュータ点検

SST 09082-00030, 09083-00150



(a) 電圧点検

- (1) SST (トヨタエレクトリカルテスター) を使用して、スライドドアクローザコンピュータのコネクタ各端子間の電圧を点検する。

基準：

端子番号	項目	測定条件	基準
B 1 (B Z) ⇔ B10 (D S G)	電圧	スライドドア全開、ドアコントロールスイッチ (D 席操作 SW) OFF → ON または トランスミッタの PWR DOOR スイッチ ON → スライドドア開作動 → 全開	0 V → 10-14 V (約 0.5 秒) → 0 V
B 1 (B Z) ⇔ B10 (D S G)	電圧	スライドドア全開 → 手でスライドドアが開く (アシスト作動) → スライドドア開作動	0 V → 10-14 V (約 0.1 秒) → 0 V
B 1 (B Z) ⇔ B10 (D S G)	電圧	スライドドア全開、ドアコントロールスイッチ (D 席操作 SW) OFF → ON → スライドドア閉作動	0 V → 10-14 V (約 0.5 秒) → 0 V 以降 → 10-14 V (約 0.1) → 0 V を繰り返す
B 1 (B Z) ⇔ B10 (D S G)	電圧	スライドドア全開、 トランスミッタの PWR DOOR スイッチ ON → スライドドア閉作動	0 V → 10-14 V (約 0.9 秒) → 0 V 以降 → 10-14 V (約 0.1) → 0 V を繰り返す
B 1 (B Z) ⇔ B10 (D S G)	電圧	スライドドア全開 → アウトサイドまたはインサイド ハンドルを引く (アシスト操作) → スライドドア閉作動	0 V → 10-14 V (約 0.3 秒) → 0 V 以降 → 10-14 V (約 0.1) → 0 V を繰り返す

<注意>

ブザーおよびパルスセンサの電圧出力の確認はバーグラフ表示にて点検する。

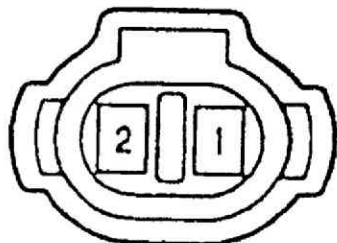
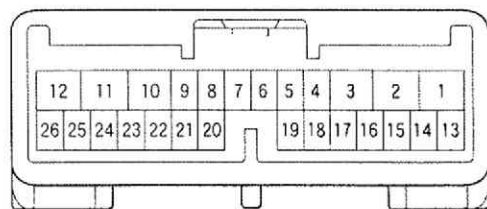
NG

スライドドアクローザコンピュータ交換

OK

2 コンピュータ ワイヤ単体点検

SST 09082-00030, 09083-00150

パワースライド
ドアワーニングブザースライドドアクローザコンピュータ
コネクタ B

B71629

(a) 導通点検

- (1) スライドドアクローザコンピュータのコネクタ B およびワーニングブザーのコネクタを切り離す。
- (2) SST (トヨタエレクトリカルテスター) を使用して、コンピュータワイヤ側コネクタ各端子間の導通を点検する。

基準:

端子番号 (コンピュータ⇔ブザー)	基準
B 1 ⇔ 1	導通あり
B 10 ⇔ 2	導通あり

NG

コンピュータ ワイヤ修理または交換

OK

パワースライドドアワーニングブザー RH交換